

山田耕筰 コンサート

ちがさきゆかりの作曲家

山田耕筰を奏でる

出演



歌
齊藤博子
Vocal / Saito Hiroko

歌
松橋靖子
Vocal / Matsubashi Yasuko

ヴァイオリン
鈴木葉子
Violin / Suzuki Yoko

ピアノ
中丸ちひろ
Piano / Nakamaru Chihiro



プログラム

赤とんぼ

唄

からたちの花

「AIYANの歌」より
曼珠沙華

曲目には変更もございます

他

入場無料

予約制(全席自由)

9月25日から予約受付を致します。
留守番電話の場合は、お名前とお電話番号の
メッセージをお願いします。
改めて主催者からご連絡致します。

2023 10/31(火)

14:00開演 13:15開場

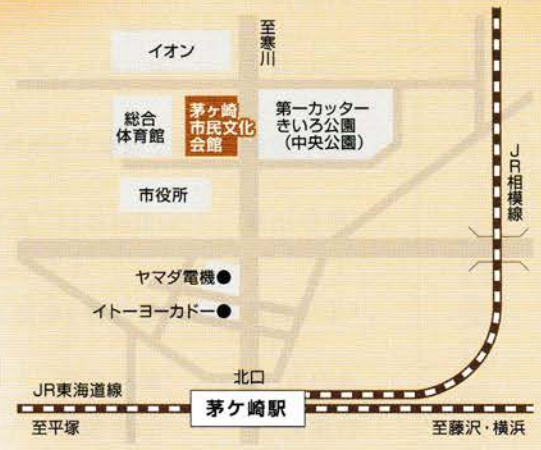
茅ヶ崎市民文化会館 小ホール

[交通・アクセス] 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎1-11-1 JR茅ヶ崎駅北口より徒歩8分

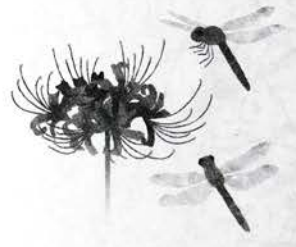
[ご予約・お問い合わせ]

090-4394-5915 / chigasaki.sound@gmail.com

[主催] ちがさきサウンド



♪ 私たちは山田耕筰を茅ヶ崎市の名誉市民に推挙する活動をしています。裏面をお読みください。



「名曲「赤とんぼ」を茅ヶ崎で作曲した「山田耕筰」を名誉市民に」

山田耕筰略歴

- ◎ 明治19年(1886)東京に生誕 昭和40年(1965)没
- ◎ 大正15年(1926)から6年間 茅ヶ崎に居住
- ◎ 日本の西洋音楽の父 日本の交響楽団の基礎を築いた
- ◎ 日本初の交響楽団を創立(のちのNHK交響楽団)
- ◎ オーケストラのリーダーであり組織者であり指揮者でもあった
- ◎ 童謡「赤とんぼ」他 有名な曲だけでも数百曲を作曲
- ◎ 昭和31年(1956)文化勲章
- ◎ 音楽教育にも力を入れ、日本の近代音楽の発展に大きな功績を遺した。

山田耕筰の手記

山田耕筰の手記が茅ヶ崎の素晴らしい風土を物語っています。

「争闘の渦を逃れて松翠香る茅ヶ崎の砂丘に愛児らと心行くまで遊び戯るゝとき、月夜遠浪の音に聴きほれて茅屋のヴェランダに仰臥するとき、煩忙な、あまりにも煩忙な公的生活によって阻まれてゐた私の創作意欲は、私の過去の生活に於いて、かつ味解し得なかつた清澄な心境と静寂の聖座にぬかづく心とに促されて、生々として萌え出づるのであります。

晴朗な湘南茅ヶ崎の大氣。その晴朗な大氣と愛児らの素純。それこそは私の胸底に徒らなる永き眠りを強いられていた「歌」に朗らかな暁の光を點じたのであります。」

茅ヶ崎で生まれた童謡「赤とんぼ」と山田耕筰は地元の風土が育んだ宝石です。日本の音楽の文化遺産です。

山田耕筰を名誉市民に推挙する実行委員会

- 会 長 内山 喜代子 (「山田耕筰」と「赤とんぼ」を愛する会代表)
- 副会長 石上 寛子 (同上 副代表)
- 菊崎 彰朗 (ちがさき丸ごとふるさと発見博物館友の会会員)
- 加藤 菊江 (山田耕筰が赤とんぼを作曲した借家の家主)
(「山田耕筰」と「赤とんぼ」を愛する会会員)
- 斉藤 博子 (「山田耕筰」と「赤とんぼ」を愛する会次期代表)
- 田中 賢三 (一般社団法人茅ヶ崎市観光協会会長)
- 亀井 信幸 (茅ヶ崎商工会議所会頭)
- 尾島 正雄 (「山田耕筰」と「赤とんぼ」を愛する会顧問)
- 「山田耕筰」と「赤とんぼ」を愛する会会員
- | | | | | |
|-------|-------|-------|--------|--------|
| 池田 礼子 | 栗谷 安代 | 鈴木 道子 | 前田 トキ子 | 横田 トシ子 |
| 岩瀬 康子 | 小池 明子 | 寺山 玲子 | 三橋 のり子 | |